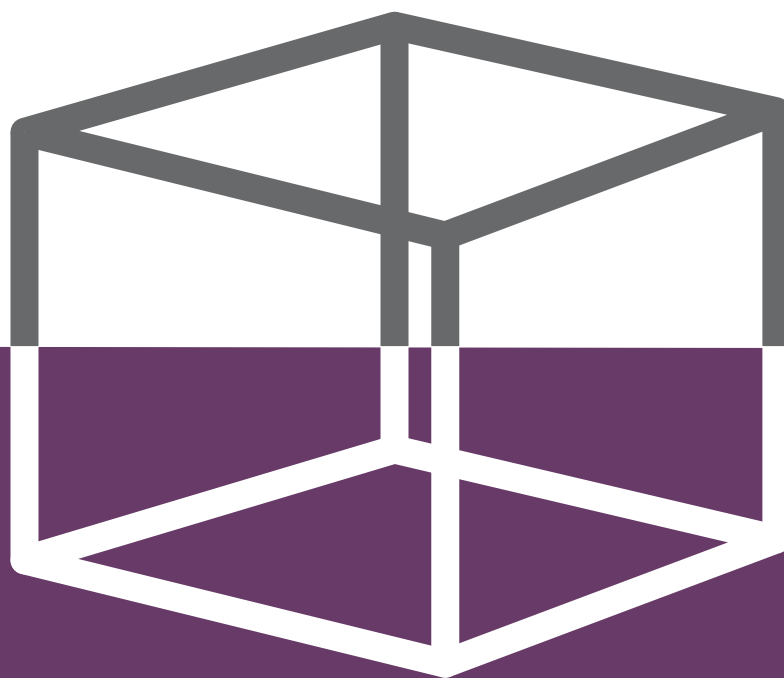


OHMURA GAKKI since 1931

大村楽器店

失敗しない防音室の造り方



株式会社 大村楽器店 防音 営業課



失敗しない防音室の造り方

防音室の失敗例とは…

- ① 防音したのに音が漏れる…
- ② 防音室を設置した部屋が予想以上に狭くなってしまった…
- ③ 防音屋の中残響が多くて疲れる…

大村楽器店の防音室施工実績からお伝えする、「失敗しない防音室の造り方」
防音室のご検討にお役立てください。

1

防音したのに音が漏れる…

① 遮音性能設定は利用目的を明確に決めスタートします。

私たちはこのようにお聞きしています（ピアノ用防音室の例）

『ピアノの音が隣家に聞こえないようにしたいですか？』

『ピアノの音が自宅のリビングの中にも聞こえないようにしたいですか？』

『ピアノの演奏の時間帯と演奏頻度は？』

防音室の利用目的を明確にしましょう！

求める防音性能により、材料などが異なり、コストにも影響します。

防音性能を設計段階で設定することで、施工後の音漏れ事故を防ぐことができます。

2

防音室を設置した部屋が狭くて使えない…

② 防音室は防音性能を最適化することが重要です。

防音工事の基本的な考え方は部材を【厚く】【重く】すれば遮音性は上がります。
厚さ 100mm の壁と 500mm の壁、防音の効果は想像できますよね。
しかし、壁の厚みは、空間スペースを奪うことになります。

安易な設計で防音だけを目指すと、大切な空間を犠牲にします。

防音室造りが目的ではなく、その中での楽しい時間を創造することが目的です。
ここで経験に基づいた設計と施工が重要になります。

3

防音屋の中で音が反射して響き過ぎてる…

③ 防音室とは小さな音場空間の創造です。

防音室の利用方法として、楽器の演奏、ホームシアター、オーディオ再生などを楽しむ。

部屋の中で集中した作業をしたいから外の音を遮断したい。

例えばピアノの練習室ならば幅広い音域に対しての残響音の管理が必要です。

打楽器でしたら振動音を止めることも重要です。

防音室内の振動、残響音などもコントロールされていないと

楽しめる空間とはなりません。

目指す音場空間をお客様のヒアリングからの的確に把握して設計し、

施工とつなげる経験値が重要となります。

OHMURA GAKKI since 1931

大村楽器店

あとがき-----

音がとまらないと弊社にあらためてご相談に来店された
お客様宅を訪問してみたら二重サッシでしたが防音ではなく断熱サッシでした。
実はこのようなケース意外と多くあります。

防音工事は、全て同じご提案になることはありません。
お客様の望む防音性能、部屋の響き（音場）、住宅環境によってご提案の内容が変わります。

お客様のご要望をしっかりと把握し、工事のご提案をできる施工店にご依頼頂く事が
『失敗しない防音室造り』の第一歩となります。

編集：

株式会社 大村楽器店 防音 営業課

電話：0465-23-1638

<https://lp.yamahaohmura.com/>